

資料3-2 学術研究船

最近の20年間に達成された、もしくは継続中の海洋研究の多くが、学術研究船白鳳丸（第2代）や淡青丸（第2代）を用いて実施され、もしくは実施されつつある。第2代白鳳丸は1989年5月1日に、また第2代淡青丸は1982年10月15日に竣工され、今日まで休むことなく海洋研究に活躍してきた。2004年の大学法人化に伴い、これら2船は、いずれも所属が東京大学から海洋研究開発機構に移行されたが、全国共同利用システムはその後も堅持されており、我が国のボトムアップ海洋研究の中核を担い続けていることに変わりはない。これらの学術研究船の詳細説明については、『東京大学海洋研究所30年史』に書き尽くされているので、ここでは、両船の主要目と一般配置図を再録するとともに、ただし一般配置図は『30年史』に比べてサイズを大きくして見やすくした。

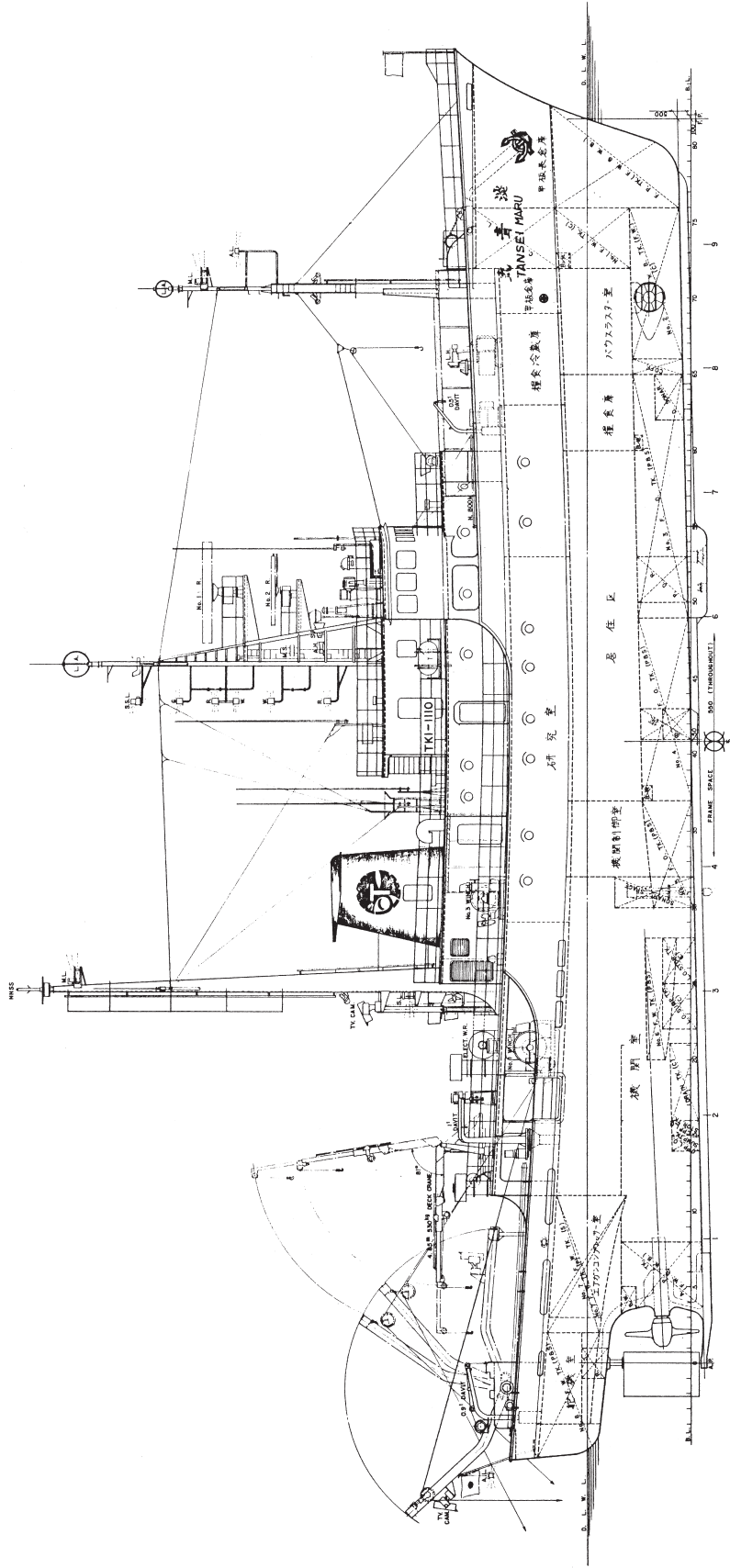
第2代淡青丸の主要目

全長	51.00m
垂線間長	45.00m
幅(型)	9.20m
深さ(型)	4.20m
計画満載喫水	3.70m
夏期満載喫水	4.309m
総トン数	469.84トン
純トン数	125.24トン
試運転最大速度	14.61ノット
航海速度	12.00ノット
航続距離	6,200海里
主機関(ディーゼル)	750PS×2基(1軸)
推進機	4翼可変ピッチ 1軸
主発電機	300KVA(240kW)(60Hz, 230V)×1
パウスラスタ	×1 4翼可変ピッチ
タンク容積	
清水	119.00m ³
バラスト水	16.7m ³
燃料油	162.2m ³
潤滑油	8.3m ³
乗組員定員	27人(予備員4人を含む)
研究員定員	11人
起工年月日	1982年 2月 1日
進水年月日	1982年 7月 9日
竣工年月日	1982年10月15日

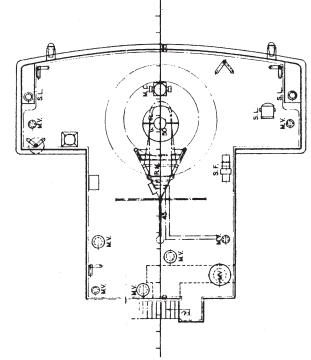
第2代白鳳丸の主要目

全長	100.00m
垂線間長	90.00m
幅(型)	16.20m
深さ(型)	8.90m
総トン数	3,987トン
推進方式	ディーゼル推進及び電気推進
原動機	1,900ps×4台
推進用電動機	1,085kw×2台
プロペラ・舵	2軸・2舵
主発電機	715KVA×3台
パウスラスタ	4.2T×2台
スタンスラスタ	6.8T×1台
航海速度	16.0kn
乗船人員	89名(内研究者35名)
起工	1988年 5月 9日
進水	1988年10月28日
竣工	1989年 5月 1日

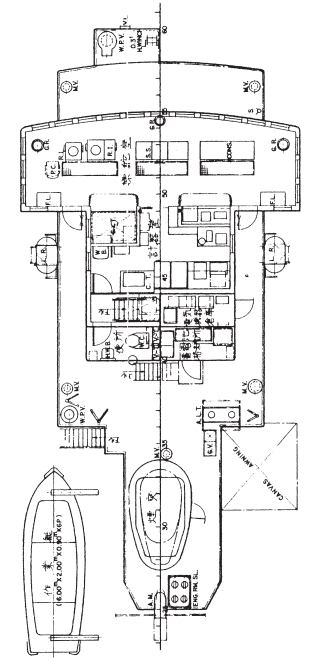
淡青丸 一般配置図



コンパス甲板

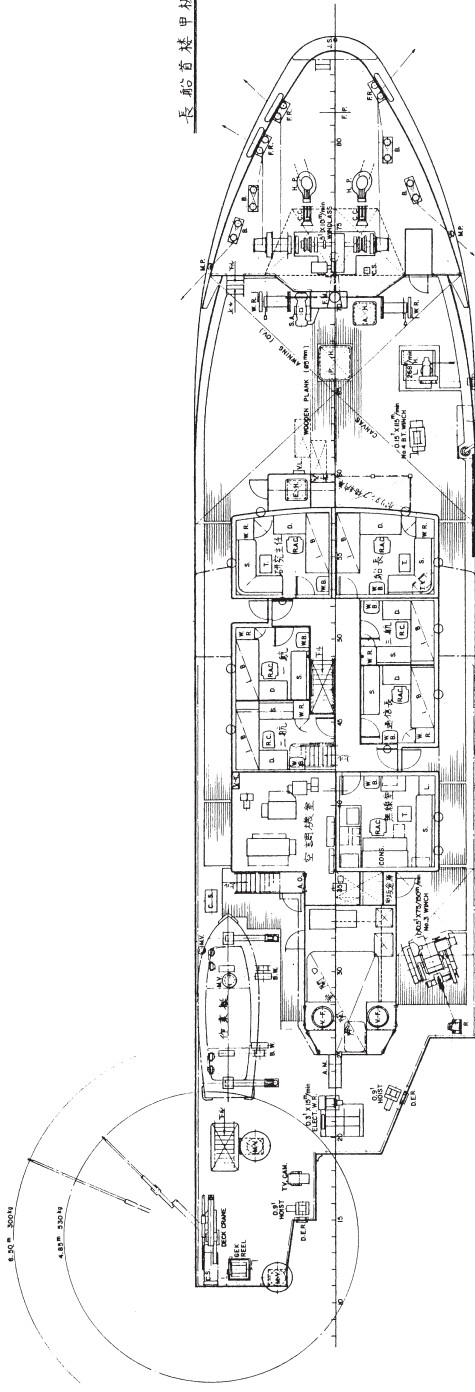


船橋甲板

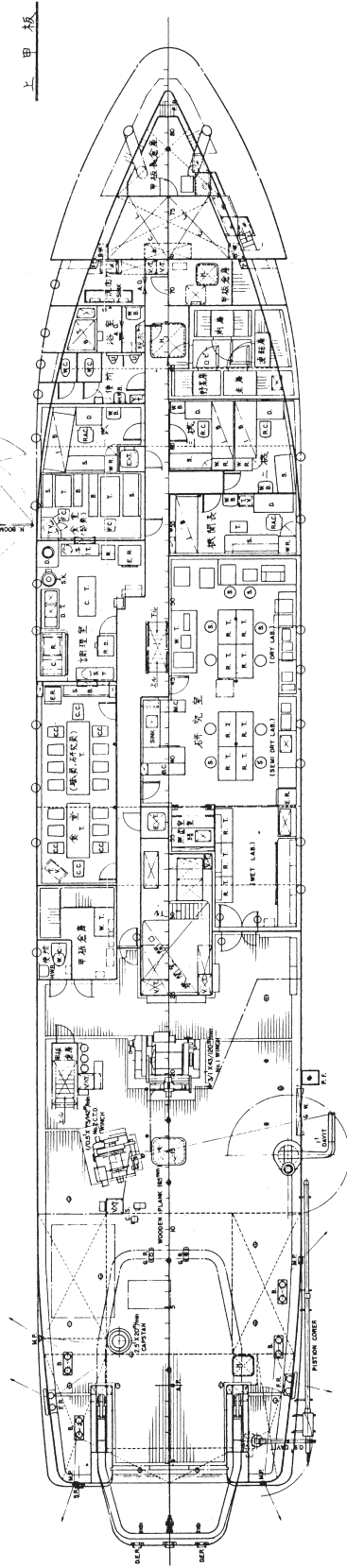


淡青丸 一般配置図

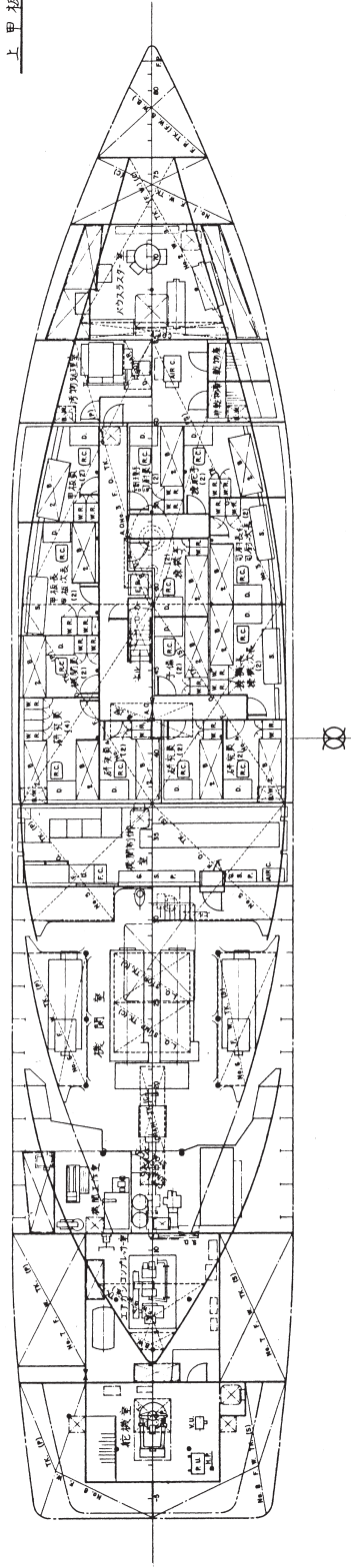
長船首基甲板



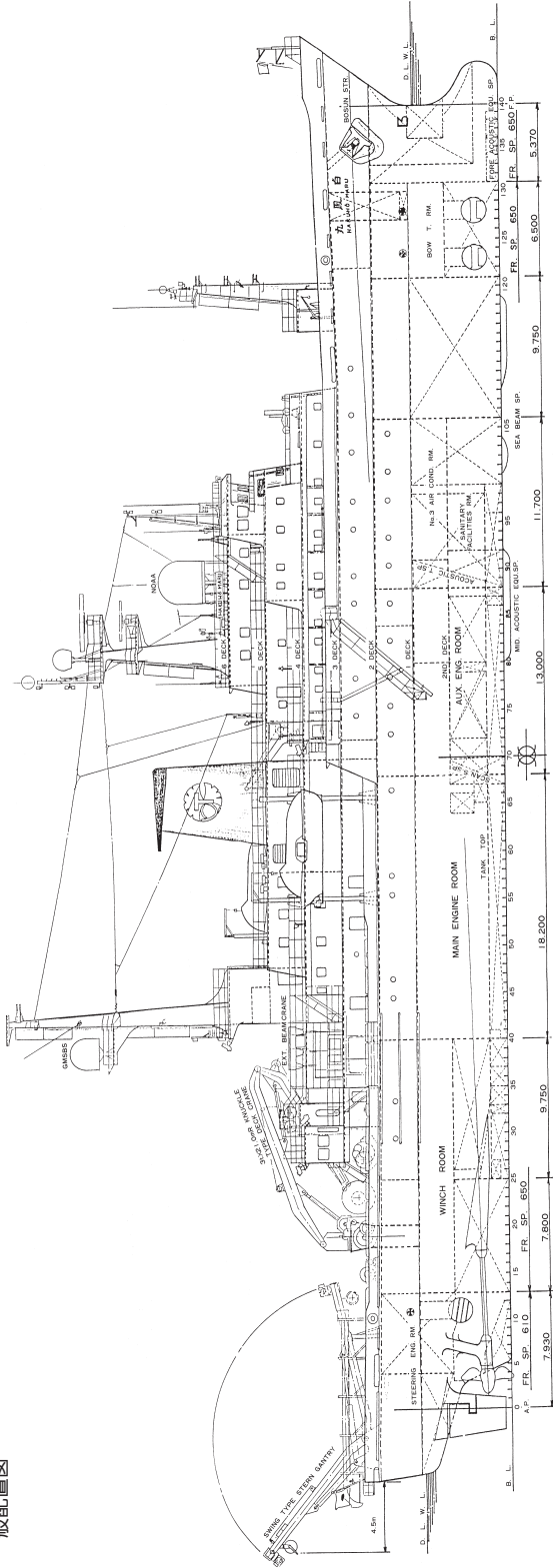
上甲板



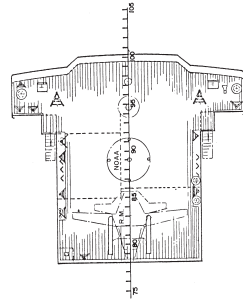
上甲板下



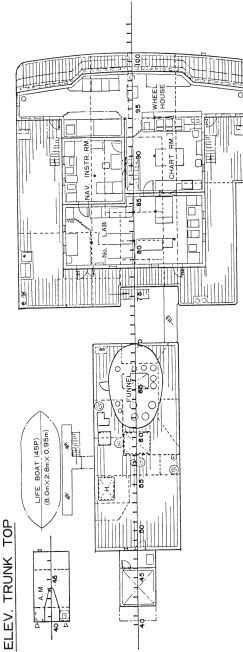
白鳳丸 一般配置図



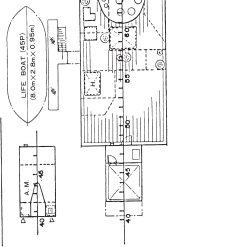
6 DECK



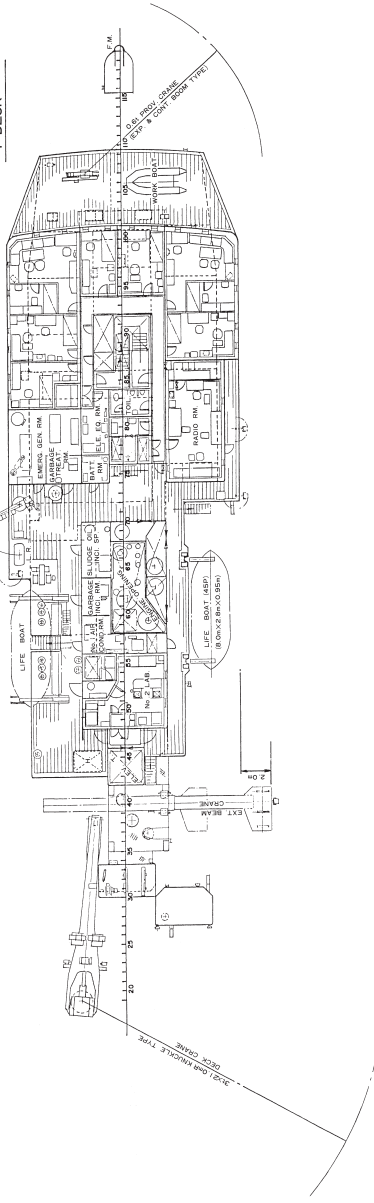
5 DECK



ELEV. TRUNK TOP



4 DECK



白鳳丸 一般配置図

